

東海地協春闘討論集会開催！

3月2日、名古屋市内において、JR総連東海地協「2016春闘討論集会」が開催されました。集会には、愛知県協・岐阜県協・静岡県協・長野県協・三重県協の仲間が結集し、JR総連春闘を統一闘争として闘う意思統一をしました。

討論集会では、はじめに高原議長が「高浜原発が再稼働した。原子力規制委員会は高浜原発1・2号機を40年の使用期限を越えて再稼働させようとしている。危険な流れだ。JR総連春闘をベア満額勝ち取ろう。安倍政権の危険な流れを止めよう」と挨拶がされました。

その後、榎本JR総連書記長から連帯の挨拶、たしろ参議院議員から、これまでの活動や現状の政治の動向について講演を受けました。引き続き、各単組の2016年春闘の闘いの報告を行うと共に、田代議員と意見交換を行ってきました。

意見交換の中では、若い組合員から政治の流れや労働運動の進め方などについて、たしろ議員に多くの質問が出され、活発な討論が展開されました。

そして、大藤事務局長のまとめを受け、集会アピールを承認し、高原議長の団結ガンバローで集会を終了しました。東海地協は、JR総連の方針のもと、2016年JR総連春闘を団結を強化して闘っていきます。



挨拶する高原議長



講演するたしろ参議院議員



JR総連春闘を勝利するぞ